

市電を借り切り、和やかなムードで行われた「まちばる」。上田市長（左）も議論に加わった



市電に揺られまちづくり議論

市民が和やかな雰囲気 主宰の川口剛さん(三九) コールやつまみも。往路
でまちづくりについて語 が、スペインの居酒屋「バ では車掌姿の会員が古い
り合う場を提供する市民 ル」にちなんで発足させ 建物など、沿線の歴史を
団体「まちばる」が八日、 た。 紹介。復路では、都市と

市営路面電車（市電）を 同国ではバルに集まっ 交通がテーマの市民団体
借り切り、発足式を兼ね た客がビールやコーヒー 「LRTさっぽろ」代表
て初会合を開いた。上田 を片手に気軽に語り合う の吉岡宏高・札幌国際大
を片手に気軽に語り合う 観光学部専任講師が、ウ

まちばるが初会合

文雄市長のほか、市民三 場として、生活に根ざし した。
十人が参加し「市電の魅 ているという。 「まちばる」は今後、
力を実感した」「これを 電停の西四丁目一す 定期的にさまざまな場所
機会に、まちの将来像を きの間を約二時間で往復 で会合を持つ予定だ。

考える」などと意見を交 する形で行われた会合で
換した。 は、本場にならってアル
（藤田香織里）